

荒川流域ネットワーク 荒川流域環境調査マップ 2006

凡 例	
●	COD 0~5ppm
●	COD 5~10ppm
●	COD 11~20ppm
●	COD 21~40ppm
●	COD 41~ ppm
—	荒川本流
—	その他河川
—	行政界
—	鉄道
—	道

1:150,000

荒川流域一斉水質調査とは？

特定非営利活動法人荒川流域ネットワーク

■NPO法人荒川流域ネットワークでは1995年から流域の市民団体に呼びかけ、毎年6月の第一日曜日の午前10時を基準に荒川の本流及び主要な支流の水質調査を実施しています。調査項目は、河川の水質には適した簡便な測定装置で測定できるバックテスト（非共立理化学研究所）を用いています。調査項目はバックテストで測定するpH、COD（化学的酸素要求量）、NH₂-N（亜硝酸態窒素）、NH₄-N（アンモニア）と水温、流速、さらににおいや汚れ具合などの感覚評価です。今年も48団体以上、流域の380箇所での調査データが集まりました。また、昨年同様、荒川下流域のNPO法人荒川グリーンエイドチームの同様の調査結果を加え、流域全体の水環境の状況を地図に表しています。

■この調査に合わせ、全国水環境マップ実行委員会主催の「身近な水環境の全国一斉調査」も同時に行われました。使用する試薬や調査方法の違いがあるにもかかわらず、多くの団体から報告があり、調査データは全国版の調査結果に反映されています。

■調査結果は、立正大学地球環境科学部の協力を得てGIS化（地理情報）を行い、インターネット上で公開しています。地図の印刷については（株）中央ジオマックスの協力を得ています。
<http://ara-river-net.jp/>